

地域家庭医療学

1-1 構成員

平成29年3月31日現在

教授	0人
病院教授	0人
准教授	0人
病院准教授	0人
講師(うち病院籍)	0人 (0人)
病院講師	0人
助教(うち病院籍)	0人 (0人)
診療助教	0人
特任教員(特任教授、特任准教授、特任助教を含む)	2人
医員	0人
研修医	0人
特任研究員	0人
大学院学生(うち他講座から)	0人 (0人)
研究生	0人
外国人客員研究員	0人
技術職員(教務職員を含む)	0人
その他(技術補佐員等)	1人
合 計	3人

1-2 教員の異動状況

沖 隆、特任教授(H1.10.1~H12.3.31内科学第2助手;H12.4.1~H25.12.31第2内科講師;
H26.1.1~現職)
綱分信二、特任助教、(H28.4.1~現職)

2 講座等が行っている研究・開発等

1	(1) 研究・開発等のテーマ名	ストレスホルモン分泌調節機構の研究
	(2) 研究・開発等の背景、目的、内容の概略	本研究は、視床下部コルチコトロピン放出因子(CRF)に関する調節機構を研究。
	(3) 前年度までの状況	マウスのGAD67ヘテロノックアウトマウスを用いた研究系の確立を行った。
	(4) 当該年度内の進捗	CRFの分泌調節にGADが促進的に関与する機構を発見し、報告した。
	(5) 翌年度の方針と予想	
2	(1) 研究・開発等のテーマ名	僻地及び都市部における認知症高齢者に対するプライマリ・ケア医の対応アプローチ: 日米の比較研究
	(2) 研究・開発等の背景、目的、内容の概略	プライマリ・ケア医は複数の慢性疾患を抱えたマルチモビディティ患者を診る機会が非常に増えており、認知症を合併するとケアはより複雑となる。プライマリ・ケア医が対応している実態は分かっていない。医療資源に差がある地域とプライマリ・ケア先進国である米国とプライマリ・ケアは後進であっても猛烈なスピードで高齢化が進んでいる日本とを比較することでプライマリ・ケア領域で取り組むべき課題が両国に取って明確になる。

3 論文、症例報告、著書等

	平成28年度
(1) 原著論文数(うち和文のもの)	4編 (0編)
そのインパクトファクターの合計	6.581
(2) 論文形式のプロシーディングズ及びレター	0編
そのインパクトファクターの合計	0.000
(3) 総説数(うち和文のもの)	3編 (3編)
そのインパクトファクターの合計	0.000
(4) 著書数(うち和文のもの)	6編 (6編)
(5) 症例報告数(うち和文のもの)	1編 (0編)
そのインパクトファクターの合計	0.832

(1) 原著論文

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

論文数(A)小計 0 うち和文 0 IF小計 0.000

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの(学内の共同研究)

	筆頭著者, 共著者: タイトル, 雑誌名, 巻, 初頁-終頁, 掲載年.	IF
1.	Kakizawa K, Watanabe M, Mutoh H, Okawa Y, Yamashita M, Yanagawa Y, Itoi K, Suda T, <u>Okai Y</u> , Fukuda A A novel GABA-mediated corticotropin-releasing hormone secretory mechanism in the median eminence. Sci Adv 2:e1501723, 2016	0.000

論文数(B)小計 1 うち和文 0 IF小計 0.000

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し、共著者が当該教室に所属していたもの

	筆頭著者, 共著者: タイトル, 雑誌名, 巻, 初頁-終頁, 掲載年.	IF
1.	Yanase T, Tajima T, Katabami T, Iwasaki Y, Tanahashi Y, Sugawara A, Hasegawa T, Mune T, <u>Okai Y</u> , Nakagawa Y, Miyamura N, Shimizu C, Otsuki M, Nomura M, Akehi Y, Tanabe M, Kasayama S Diagnosis and treatment of adrenal insufficiency including adrenal crisis: a Japan Endocrine Society clinical practice guideline [Opinion]. Endocr J 63:765-784, 2016	1.895
2.	Yamazaki Y, Nakamura Y, Shibahara Y, Konosu-Fukaya S, Sato N, Kubota-Nakayama F, <u>Okai Y</u> , Baba S, Midorikawa S, Morimoto R, Satoh F, Sasano H Comparison of the methods for measuring the Ki-67 labeling index in adrenocortical carcinoma: manual versus digital image analysis. Human pathology 53:41-50, 2016	2.791

3.	Nishikawa T, Omura M, Kawaguchi M, Takatsu A, Satoh F, Ito S, Kurihara I, Itoh H, Yanase T, Shibata H, <u>Okii Y</u> , Naruse M, Sakurai K, Sasamoto H, Kuwa K Calibration and evaluation of routine methods by serum certified reference material for aldosterone measurement in blood. Endocr J 63:1065-1080, 2016	1.895
----	--	-------

論文数(C)小計 3 うち和文 0 IF小計 6.581

(3) 総説

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

	筆頭著者, 共著者: タイトル, 雑誌名, 巻, 初頁-終頁, 掲載年.	IF
1.	沖 隆: 【代謝内分泌】副腎ホルモン異常症 原発性アルドステロン症・Cushing症候群・褐色細胞腫/パラガングリオーマ. Hospitalist 4:105-113, 2016	0.000
2.	沖 隆: 肥塚直美, 田中知明, 高橋裕: 先端巨大症の過去・現在・未来, Pharma Medica 34(10): 75-80, 2016.	0.000
3.	沖 隆: 【糖尿病を診る ポケット検査事典】内分泌 副腎髄質関連 A, NA, DA, MN, NMN, VMA, プラクティス別冊糖尿病を診るポケット検査事典 169-170, 2016.	0.000

総説数(A)小計 3 うち和文 3 IF小計 0.000

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの(学内の共同研究)

総説数(B)小計 0 うち和文 0 IF小計 0.000

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの

総説数(C)小計 0 うち和文 0 IF小計 0.000

(4) 著書

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

	著者: タイトル, 出版社名, 巻, 初頁-終頁(頁数), 発行年.	IF
1.	沖 隆: アジソン病: ここが知りたい! 内分泌疾患診療ハンドブック, 中外医学社, 2016年	
2.	沖 隆: New専門医を目指すケース・メソッド・アプローチ 内分泌疾患, 医事新報社, 2016年	
3.	沖 隆: 第6章視床下部・下垂体, 9 下垂体前葉機能低下症: 内分泌代謝専門医ガイドブック, 診断と治療社, 2016, 129-134.	
4.	沖 隆: II 各論編, 第1章, A下垂体前葉ホルモン, 1 ACTH: 下垂体疾患診療マニュアル, 診断と治療社, 2016, 36-38.	
5.	沖 隆: II 各論編, 第2章, D下垂体前葉疾患各論, 8 Cushing病: 下垂体疾患診療マニュアル, 診断と治療社, 2016, 156-160.	
6.	沖 隆: コラム, Harvey W Cushing: 下垂体疾患診療マニュアル, 診断と治療社, 2016, 155.	

著書数(A)小計 6 うち和文 6

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの(学内の共同研究)

著書数(B)小計 0 うち和文 0

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの

著書数(C)小計 0 うち和文 0

(5) 症例報告

A. 筆頭著者が浜松医科大学の当該教室に所属していたもの

症例報告数(A)小計 0 うち和文 0 IF小計 0.000

B. 筆頭著者が浜松医科大学の他教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの(学内の共同研究)

症例報告数(B)小計 0 うち和文 0 IF小計 0.000

C. 筆頭著者が浜松医科大学以外の教室に所属し, 共著者が当該教室に所属していたもの

	筆頭著者, 共著者: タイトル, 雑誌名, 巻, 初頁-終頁, 掲載年.	IF
1.	Ohara N, Kaneko M, Kuriyama H, Sato K, Katakami H, <u>Okii Y</u> , Kaneko K, Kamoi K Isolated Adrenocorticotropin Deficiency Concomitant with Graves' Disease: A Case Report and Literature Review. Intern Med 55:2649-2658, 2016	0.832

症例報告数(C)小計 1 うち和文 0 IF小計 0.832

4-1 特許等の知的財産権の取得状況

	平成28年度
特許等取得数(出願中含む)	0件

4-2 薬剤、医療機器等の実用化、認証、承認、製品化、販売等の状況

	平成28年度
実用化、認証、承認、製品化、販売数	0件

5 医学研究費取得状況

	平成28年度	
	件数	金額 (万円未満四捨五入)
(1) 科学研究費助成事業(文部科学省、日本学術振興会)	0件	0万円
(2) 厚生労働科学研究費	1件	15万円
(3) 日本医療研究開発機構(AMED)による研究助成	1件	31万円
(4) 科学技術振興機構(JST)による研究助成	0件	0万円
(5) 他政府機関による研究助成	0件	0万円
(6) 財団助成金	1件	300万円
(7) 受託研究または共同研究	0件	0万円
(8) 奨学寄附金	2件	345万円

(2) 厚生労働科学研究費

1. 沖隆(分担), 間脳下垂体機能障害における診療ガイドライン作成に関する研究, 平成27年度~平成28年度,(研究代表者)独立行政法人国立病院機構京都医療センター臨床研究センター長島津章	15万円
---	------

(3) 日本医療研究開発機構(AMED)による研究助成

1. 沖隆(分担), 間脳下垂体機能障害に関する長期予後調査研究, 平成27年度~平成31年度,(研究代表者)国立病院機構京都医療センターセンター長島津章	31万円
---	------

(6) 財団助成金

1. 綱分信二,(公財)ファイザーヘルスリサーチ振興財団, 僻地及び都市部における認知症高齢者に対するプライマリ・ケア医の対応アプローチ: 日米の比較研究	300万円
---	-------

6 大型プロジェクトの代表, 総括

7 学会活動

	(1) 国際学会	(2) 国内学会
1) 基調講演・招待講演回数	0件	1件
2) シンポジウム発表数	0件	1件
3) 学会座長回数	0件	1件
4) 学会開催回数	0件	3件
5) 学会役員等回数	0件	2件
6) 一般演題発表数	0件	

(2) 国内学会の開催・参加

1) 学会における特別講演・招待講演

1. 沖隆, ACTH依存性Cushing症候群の診断と治療、第39回日本高血圧学会、仙台、2016
--

2) シンポジウム発表

1. 沖隆, 局在診断困難なACTH依存性Cushing症候群の治療方針、第27回日本間脳下垂体腫瘍学会、東京、2017
--

3) 座長をした学会名

1. 沖隆, 局在診断困難なACTH依存性Cushing症候群の治療方針、第27回日本間脳下垂体腫瘍学会、東京、2017
--

4) 主催した学会名

1. 沖隆: 会長、第229回日本内科学会東海地方会(浜松市)、2016年6月26日、300名

2. 沖 隆:会長、第16回日本内分泌学会東海支部学術集会(浜松市)、2016年9月10日、150名
3. 沖 隆:会長、第43回日本神経内分泌学会学術総会(浜松市)、2016年10月14日15日、300名

5) 役職についている国内学会名とその役割

1. 沖 隆:日本内分泌学会 評議員・東海支部長
2. 沖 隆:日本糖尿病学会 評議員

8 学術雑誌の編集への貢献

	(1)外 国	(2)国 内
学術雑誌編集数(レフリー数は除く)	0 件	1 件

(2) 国内の英文雑誌等の編集

1. 沖 隆:Endocrine Journal, Editorial Board、PubMed/Medline登録有、インパクトファクター有

(3) 国内外の英文雑誌のレフリー

1. 沖 隆:Endocrine Journal 2回

9 共同研究の実施状況

	平成28年度
(1)国際共同研究	0 件
(2)国内共同研究	0 件
(3)学内共同研究	0 件

10 産学共同研究

	平成28年度
産学共同研究	0 件

11 受 賞

12 新聞, 雑誌, インターネット等による報道

13 その他の業績